

	0～5%（直下地震の場合10～20%） ・揺れやすさ（震度）：震度6弱（直下地震の場合、震度6強）	
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 施設名称	熊本市立天明中学校	天明校区施設一体型義務教育学校
② 施設の延床面積	5,982㎡	11,000㎡
③ 建物の構成 （構造、階数）	全施設2階建て 教室棟・体育館R造、武道場S造	4階建て 構造は未定
④ 主な施設の内容、機能	管理教室棟、普通教室棟、特別教室棟、体育館、運動場用地、武道場、プール	同左 ※ただし、防災備蓄倉庫や地域連携室等の義務教育学校の特徴となる諸室は新たに設ける。
⑤ 運営状況 （運営主体、事業手法等）	運営主体：熊本市 事業手法：直営	同左
5. 検討状況など		
① 現状及び課題	<p>今後、実施方針や要求水準書等を作成していく中で、以下の点について検討していく必要があると考えており、民間事業者からの意見をいただきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期短縮の可能性 校舎の供用開始は令和9年（2027年）4月予定であるが、同年2月末に竣工すること等ができれば、新校舎で卒業式を実施すること等が可能となるため、工期短縮につながる手法等を検討している。 ・より多くの参画が可能な募集条件 今後実施方針等を検討する中で、より多くの民間事業者に参加いただける参加資格や要求水準などを検討する必要がある。 ・その他、軟弱地盤を踏まえた施工、ZEB化の検討など 	
② 目的、考え方・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業手法はDB方式とする。 ・仮設校舎を建設しない計画とする。 ・新校舎は避難所機能を有した4階建ての施設とする。 ・既存小・中学校の地域開放の特色やカリキュラム等を踏まえて、地域連携室を設置する。その際、管理区分を明確に設定し、防犯やセキュリティ等に配慮した計画とする。 ・児童生徒にとって安全で豊かな教育環境を確保するとともに、セキュリティや安全面に配慮した配置・動線・ゾーニングを検討する。 ・9年間の普通教育を一貫して実施できる義務教育学校を建設することにより、教員の働きやすい環境を整備する。 ・工事期間中も、生徒が現校舎で生活するため、安全に配慮した施設整備計画とする。 <p>※詳細は基本計画にてご確認ください。 <参考資料>熊本市ホームページへのリンク 天明校区施設一体型義務教育学校の創設について</p>	
③ 前提条件	校舎の供用開始は、令和9年（2027年）4月を予定	

④ 地域住民からの意見等	<p>現時点で、地域住民から出ている意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下や階段を含めて施設を総合的にみて、子どもの学びのスペースをつくってほしい。 ・地域の活動や交流空間を確保してほしい。 ・新しい施設が完成するまで、部活動ができるような支援をしてほしい。 ・新校舎には、避難所機能をもたせてほしい。
⑤ その他	<p>・閉校後の4小学校の利活用について、ご提案あればうかがいたい。</p> <p><参考資料></p> <p>令和4年度第2回公民連携プラットフォームでのマーケットサウンディング時の事業概要説明資料（別添）</p>
6. 事業スケジュール(案)	<p>令和4年12月：基本計画策定</p> <p>令和5年度～ ：事業公募・事業契約締結</p> <p>事業契約締結～令和8年度：新義務教育学校施設整備</p> <p>令和9年度4月：校舎供用開始 解体、外構工事</p>
7. 対話内容	<p>現在想定している事業スケジュールや、来年度公表予定の実施方針、整備事業への参加資格等について、意見をいただきたい。</p>